

S I D R

(滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

〈月報〉
平成 21年 2月
(第 6 ~ 9週)

発行年月日 :平成21年(2009年) 3月13日
発行 行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター
電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

1) 全数報告の感染症(一類 ~ 五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年		感染症 類型	疾 病 名	平成 21年				平成 20年	
		1月		2月		1~12月				1月		2月		1~12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	2	0	0	0	132
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	3
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		鼻疽	0	0	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0	0	0	4	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	2	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	
	結核	23	1,532	20	1,977	282	27,737	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	発しんチフス	0	0	0	0	0	0	
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	2	
三類	鳥インフルエンザ(H5N1)(*)	0	0	0	0	0	0	マラリア	0	6	0	7	1	57	
	コレラ	0	0	0	1	0	45	野兔病	0	0	0	0	0	5	
	細菌性赤痢	0	11	0	12	13	318	ライム病	0	0	0	0	0	5	
	腸管出血性大腸菌感染症	0	54	0	71	53	4,307	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
	腸チフス	0	2	0	0	0	57	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	
四類	バラチフス	0	0	0	0	0	28	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	
	E型肝炎	0	0	0	7	0	43	レジオネラ症	0	69	0	38	10	884	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	レプトスピラ症	0	1	0	0	0	42	
	A型肝炎	0	7	0	10	3	170	ロッキーマウンテン紅斑熱	0	0	0	0	0	0	
	エキノコックス症	0	1	0	2	0	17	アムール赤痢	0	70	0	74	10	861	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	ウイルス性肝炎	1	14	0	20	5	236	
	オウム病	0	1	0	0	0	9	急性脳炎	0	28	0	21	1	182	
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	9	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	7	0	10	2	148	
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	11	0	7	1	111	
	Q熱	0	0	0	0	0	3	後天性免疫不全症候群	0	108	1	113	11	1,532	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	ジアルジア症	0	4	0	4	1	75	
	コクシジオイデス症	0	1	0	0	1	2	髄膜炎菌性髄膜炎	0	2	0	1	0	10	
	サル痘	0	0	0	0	0	0	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	梅毒	0	53	0	59	5	823	
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	破傷風	0	5	0	3	5	120	
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	8	0	8	0	80	
	つつが虫病	0	30	0	3	0	434	風しん	0	9	0	19	2	303	
デング熱	0	10	0	5	2	104	麻しん	0	76	0	55	39	11,005		
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0									
鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0									

(*) :平成20年5月12日から集計

滋賀県における全数報告感染症の概要 (2月)

< 結核 >

性別 : 男性 16名、女性 4名
 類型 : 患者 15名
 無症状病原体保有者 5名
 病型 : 肺結核 11名
 その他の結核 9名

< 後天性免疫不全症候群 >

男性 24歳

病名分類はその他(急性感染)で、推定感染経路は同性間性的接触、推定感染地域は日本国内です。

*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含む

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のうち、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症を定点把握対象感染症といいます。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点および基幹定点に分かれています。

2月の概要

<インフルエンザ>

インフルエンザのピークは第4週(1/19~1/25)の定点当たり患者数41.22で、その後減少傾向を示していましたが長浜保健所管内では多い状態となっていました。さらに、第9週(2/23~3/1)には定点当たり患者数は11.04に減少しましたが、第3週(2/12~1/18)に発令されたインフルエンザ警報は第9週まで継続していました。

また、第6週には、インフルエンザウイルスB型が今冬になって初めて検出されました。

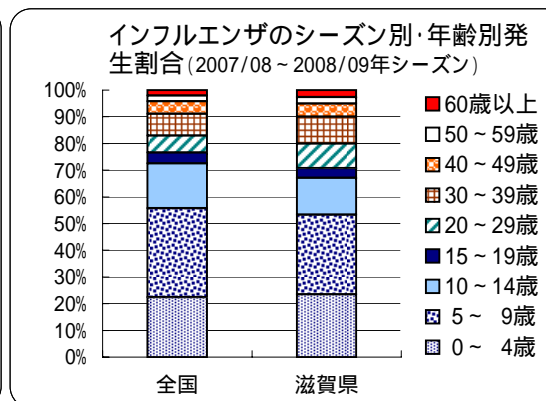
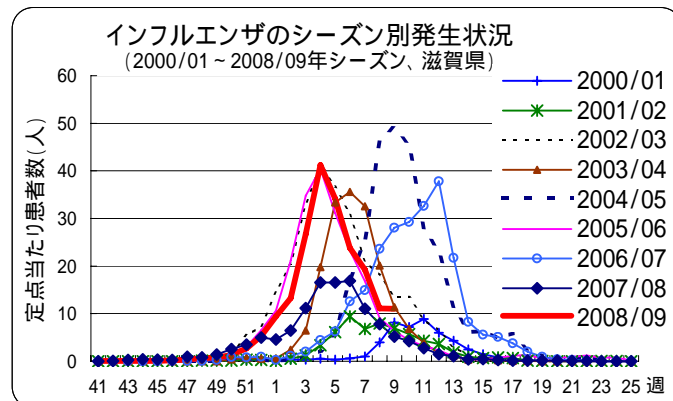
<小児科定点疾患>

各疾患の発生状況については大部分の疾患で先月より減少し(疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)、増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎および伝染性紅斑(リンゴ病)のみです。A群溶レン菌咽頭炎については、東近江および甲賀で多く発生し警報発生基準値(2.00)を越えていました。

<眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

眼科定点疾患である急性出血性結膜炎の報告は長浜からあり、流行性角結膜炎の報告はありませんでした。また、基幹定点疾患である無菌性髄膜炎は長浜から、クラミジア肺炎は東近江から報告されていました。マイコプラズマ肺炎および細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。

インフルエンザの発生状況(平成21年第9週現在)



<各定点の対象疾患>

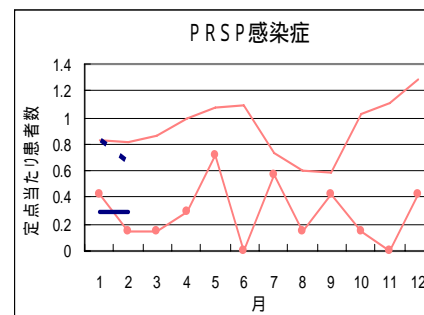
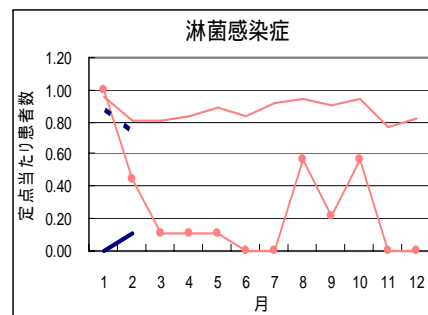
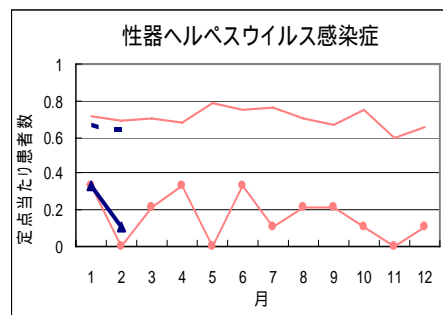
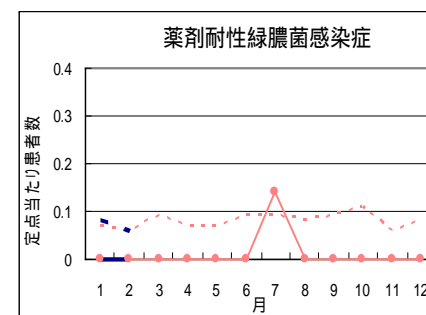
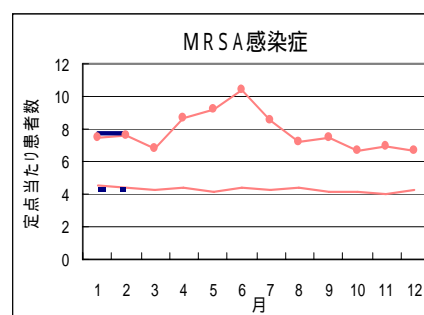
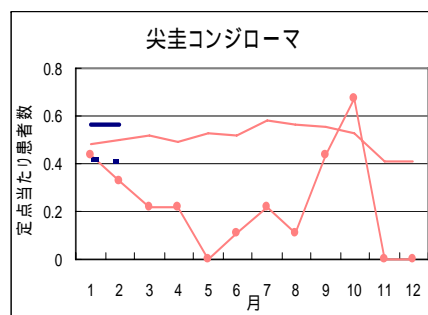
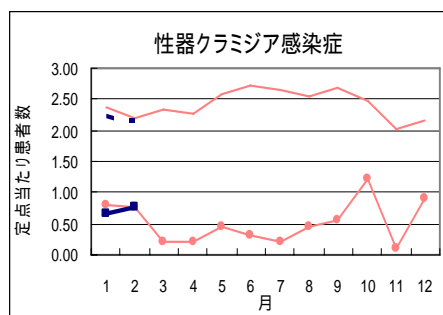
定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱 A群溶レン菌咽頭炎、水痘 感染性胃腸炎、手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳 突発性発しん、ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎(オウム病を除く)

インフルエンザのシーズン別発生状況は上記グラフのとおりです。年齢別発生割合を全国と比較すると、ほぼ同様ですが20～29歳でやや多く、5～9歳でやや少なくなっています。

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) において公表されています。

3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成 21年 2月)

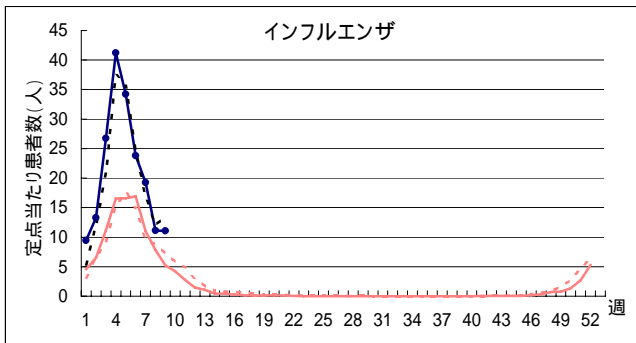
疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
性器クラミジア感染症	罹患数	6	7											13
	定点当たり	0.67	0.78											1.45
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	3	1											4
	定点当たり	0.33	0.11											0.44
尖圭コンジローマ	罹患数	5	5											10
	定点当たり	0.56	0.56											1.12
淋菌感染症	罹患数	0	1											1
	定点当たり	0	0.11											0
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	罹患数	54	54											108
	定点当たり	7.71	7.71											15.42
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	罹患数	2	2											4
	定点当たり	0.29	0.29											0.58
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0



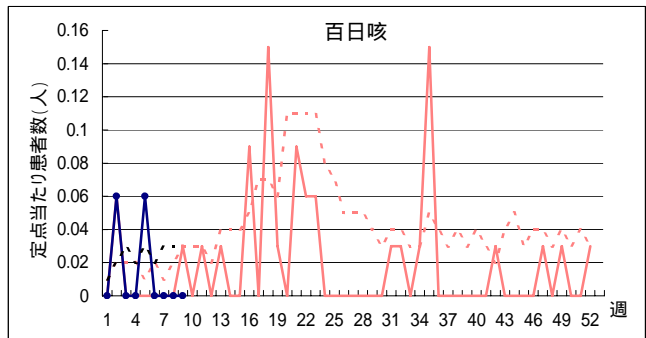
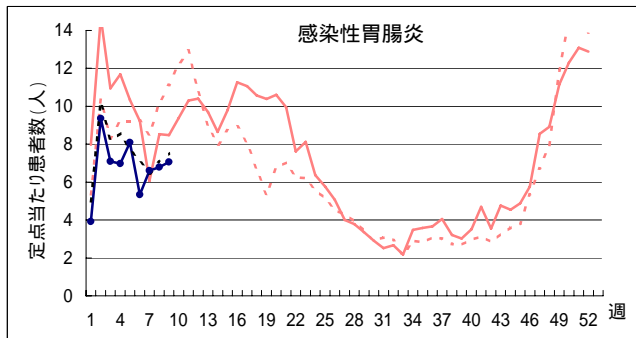
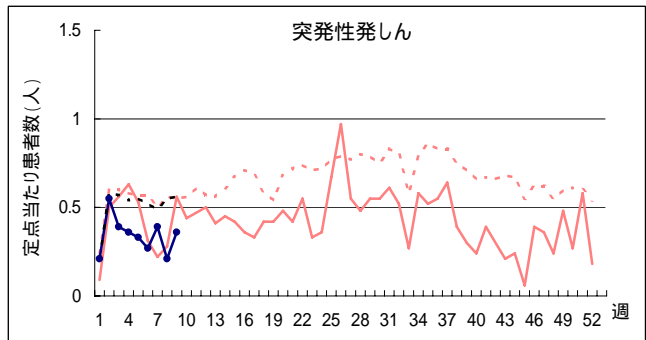
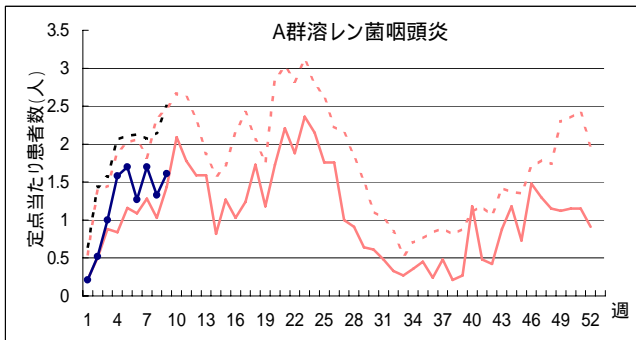
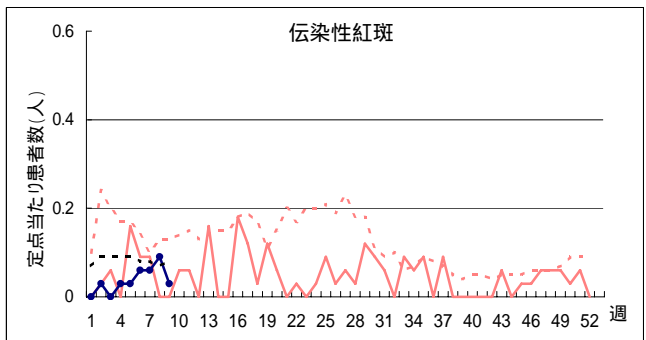
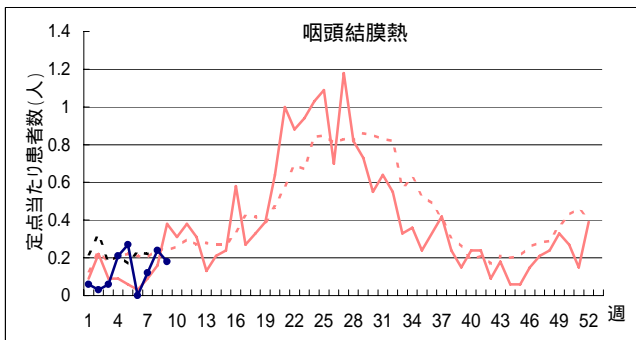
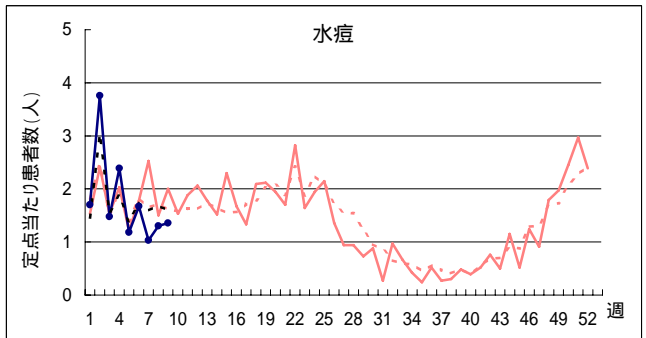
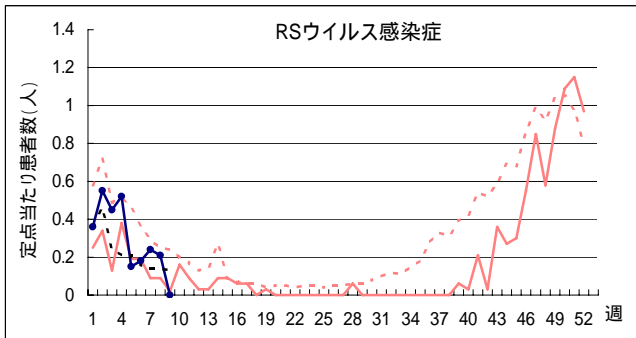
H20 〔 滋賀 ● 全国 ○ 〕
 H21 〔 滋賀 ● 全国 ○ 〕
 MRSA: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
 PRSP: ペニシリン耐性肺炎球菌

性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況を先月と比較すると、性器クラミジア感染症および淋菌感染症は微増、性器ヘルペスウイルス感染症は減少となり、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありません。その他の疾患については、横ばいとなっています。

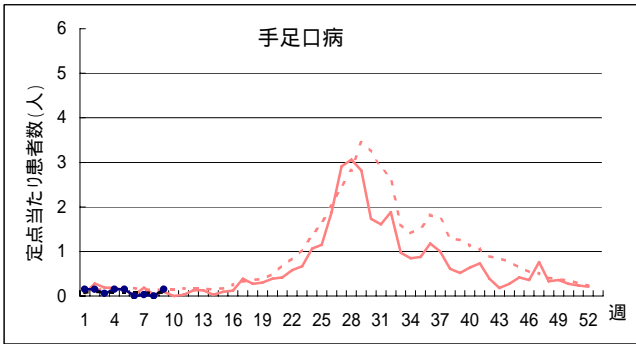
疾病別定点当たり患者数(平成21年第9週、H19.12.29~H21.3.1)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第9週、H19.12.29~H21.3.1)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 - - - - -
 H21
 { 滋賀 ●●●●●
 全国 - - - - -

